

2021年9月期 第3四半期

決算説明会

2021年8月10日（火）

証券コード：9438



本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

■ 目次

P.01 3Q決算概要

- 02 決算ハイライト
- 03 連結PL
- 04 連結販管費内訳
- 05 通期業績予想に対する進捗
- 06 セグメント別業績

P.15 今後の取り組み

- 16 FY2021基本方針
- 17 クラウド薬歴
- 19 母子手帳アプリ

P.25 トピックス

- 26 トピックス①
- 27 トピックス②

P.29 付属資料

- 31 連結BS
- 32 連結PL推移
- 33 連結販管費推移
- 34 コンテンツ事業
- 35 通期業績予想
- 36 主なヘルスケアサービス一覧
- 37 ヘルスケアサービス全体像
- 38 クラウド薬歴
- 39 母子手帳アプリ
- 40 オンライン診療・オンライン服薬指導

3Q決算概要

2021年9月期 第3四半期の決算概要についてご説明いたします。

決算ハイライト

1 3Q業績

- ・売上高： 19,504百万円（前年同期比 +11百万円 +0.1%）
- ・営業利益： 1,796百万円（前年同期比 △221百万円 △11.0%）
- ・通期業績予想進捗： 売上高75.0%、営業利益78.1%

※便宜的にレンジの中間値と比較しています。

2 3Qの取り組み実績

- ・コンテンツ事業：
 - ・ セキュリティ関連アプリの好調
 - ・ オリジナルコミック過去最高売上
- ・ヘルスケア事業：
 - ・ クラウド薬歴の導入拡大
 - ・ 『母子モ』、オンライン相談の好調

Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

2

売上高は前年同期比横ばいの195億04百万円となりました。

営業利益は、前年同期比11%減少の17億96百万円となりました。

通期業績予想の進捗は、売上高75.0%、営業利益78.1%と、順調に推移しています。

当第3四半期の主な取り組み実績は、コンテンツ事業においては、セキュリティ関連アプリが好調に推移し、オリジナルコミック事業も好調で、過去最高の売上げを更新しました。

ヘルスケア事業においては、クラウド薬歴の導入が引き続き拡大しています。また、母子手帳アプリ『母子モ』とオンライン相談の導入数が好調に推移しました。

それぞれの取り組みについては、後ほどご説明いたします。

連結PL

売上高：横ばい、営業利益：減益

(単位：百万円)

	FY2020 3Q累計	FY2021 3Q累計	前年同期比		
			金額	増減率	
売上高	19,492	19,504	+11	+0.1%	
売上原価 (原価率)	5,315 27.3%	5,147 26.4%	△167	△3.2%	
売上総利益 (利益率)	14,177 72.7%	14,356 73.6%	+179	+1.3%	
販管費 (販管費率)	12,159 62.4%	12,560 64.4%	+400	+3.3%	(人件費) 子会社の増加 開発人員の増加
営業利益 (利益率)	2,017 10.4%	1,796 9.2%	△221	△11.0%	
経常利益 (利益率)	1,961 10.1%	1,269 6.5%	△691	△35.3%	持分法による投資 損失の拡大
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (利益率)	1,780 9.2%	△1,094 -	△2,875	-	2Q: 法人税等調整額の 計上見送り

Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

3

連結PLについてご説明いたします。

売上高は、前年同期比横ばいの195億04百万円となりました。
コンテンツ事業では有料会員数の減少により売上は減少しましたが、
オリジナルコミック事業の売上拡大、ヘルスケア事業におけるクラウド薬歴の売上拡大、AI事業や大手企業向けDX支援事業の売上拡大により、カバーしたものです。

営業利益は、販管費が増加したことにより、前年同期比11.0%減少の17億96百万円となりました。

経常利益は、持分法による投資損失が拡大し、営業外費用が前年同期比で増加したことにより前年同期比35.3%減の12億69百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、特別利益の減少や第2四半期において、法人税等調整額の計上を見送ったこと等により、10億94百万円となりました。

連結販管費内訳

広告宣伝費、人件費、外注費は増加

	FY2020 3Q	FY2021 3Q	(単位：百万円)	
			前年同期比 金額	増減率
販管費総額	12,159	12,560	+400	+3.3%
広告宣伝費	853	1,104	+250	+29.4%
人件費	4,704	5,251	+547	+11.6%
支払手数料	2,527	2,351	△176	△7.0%
外注費	1,020	1,340	+319	31.3%
減価償却費	1,182	846	△336	△28.5%
その他	1,870	1,666	△203	△10.9%

セキュリティ関連アプリ
の販売促進

子会社の増加
開発人員の増加

販管費内訳の増減についてご説明いたします。

販管費全体では、前年同期比3.3%増加の125億60百万円となりました。

広告宣伝費の増加は、コンテンツ事業において、セキュリティ関連アプリの会員数拡大を目的に販売促進を強化したためです。

人件費の増加は、子会社の増加や開発人員の増加によるものです。

通期業績予想に対する進捗

売上高、営業利益は順調推移

(単位：百万円)

	FY2021 通期予想	FY2021 3Q累計	進捗率
売上高	26,000	19,504	75.0%
営業利益	2,300	1,796	78.1%
経常利益	1,800	1,269	70.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△800	△1,094	—

通期業績予想に対する進捗については、売上高、営業利益は順調に推移しています。

セグメント別業績

コンテンツ事業

BtoC / BtoB
コンテンツ配信サービス



ヘルスケア事業

BtoC / BtoB / BtoBtoC
既存ヘルスケア
新規ヘルスケア

LunaLuna

母子モ



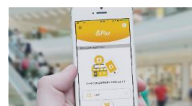
CARADA

Solamichi

CARADA オンライン診療

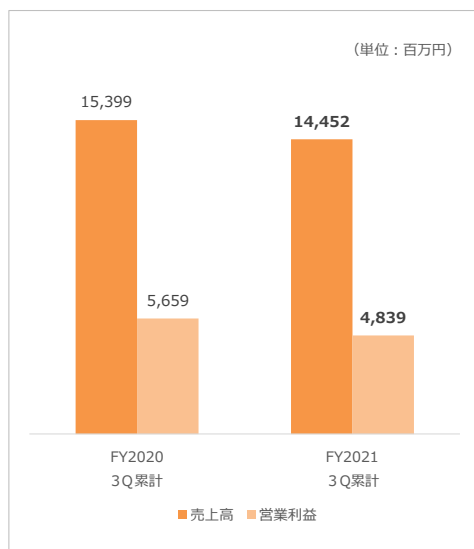
その他事業

BtoB
フィンテックサービス
AIサービス
ソリューションサービス



続いて、セグメント別業績についてご説明いたします。

コンテンツ事業：売上高・営業利益



減収減益

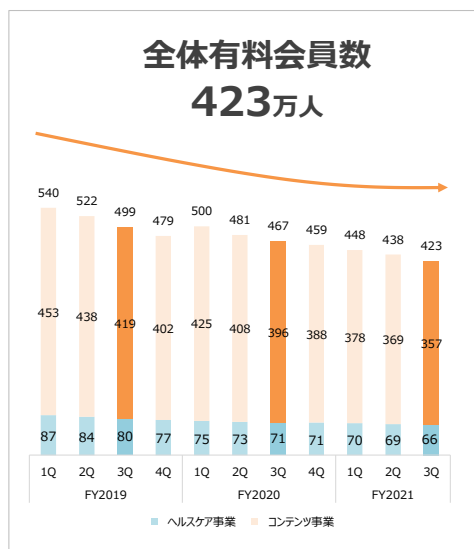
- ・ 売上高
 - －：有料会員数減少
 - ＋：オリジナルコミック拡大
- ・ 営業利益
 - －：有料会員数減少
 - 広告宣伝費増加
 - (セキュリティ関連アプリ向け)

コンテンツ事業については、売上高144億52百万円、営業利益48億39百万円となり、前年同期比で減収減益となりました。

売上高の減収については、オリジナルコミック事業の拡大、セキュリティ関連アプリの売上拡大があった一方、前年同期比で有料会員数が減少したことが主な理由です。

営業利益の減益は、売上減収に加え、セキュリティ関連アプリの販売促進に伴う広告宣伝費の増加によるものです。

コンテンツ事業：有料会員数



減少幅は縮小傾向

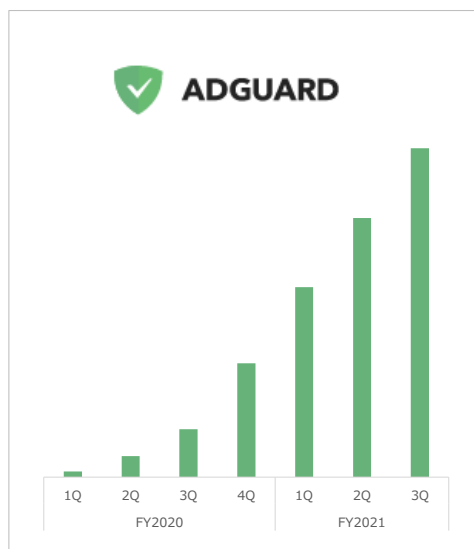
- ・ セキュリティ関連アプリ好調

※グラフは従来からの月額会員数集計方法に合わせ、ヘルスケア事業の月額課金モデルの有料会員数（リナルナ、カラダメディカ）を含んでいます。

Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

有料会員数は前年同期比で減少していますが、減少幅は縮小傾向にあります。

コンテンツ事業：セキュリティ関連アプリ



セキュリティ関連アプリ好調

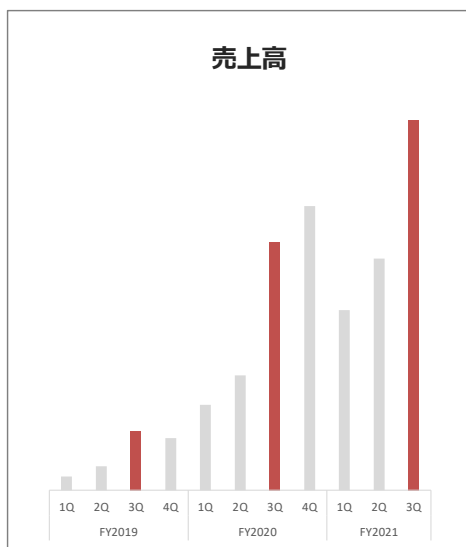
有料会員数の拡大傾向



セキュリティ関連アプリの入会は好調に推移し、6月末で21万人となりました。

広告ブロッカーやサイトセキュリティ強化に対するニーズが高いことが背景にあります。

コンテンツ事業：オリジナルコミック



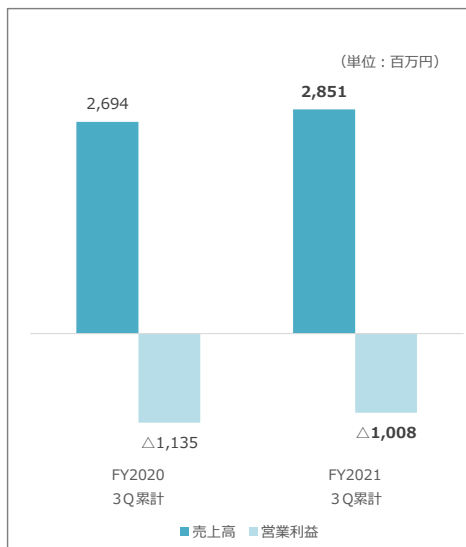
過去最高売上

作品投入数拡大
ヒット作品数の連載が寄与

コンテンツ事業において、主力の月額有料会員事業とは別に展開している、BtoBのオリジナルコミック事業は、ヒット作に恵まれたことにより、第3四半期では過去最高の売上高を記録しました。

複数のヒット作が連載中で、今後も作品投入数を増加させていく予定です。

ヘルスケア事業：売上高・営業利益



売上高拡大

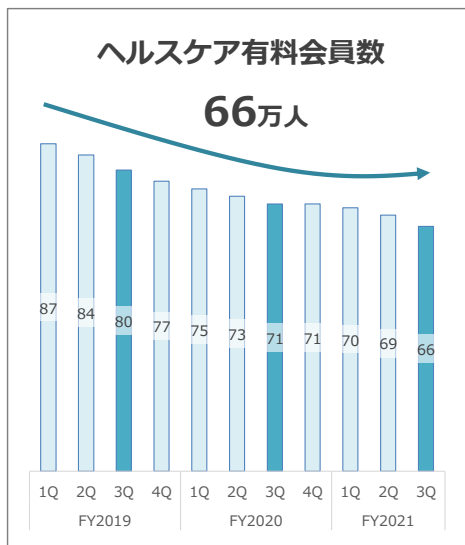
- ・ クラウド薬歴の
初期導入売上拡大が寄与

ヘルスケア事業については、売上高28億51百万円と前年同期比1億57百万円の増収、営業損失は10億08百万円となり、1億27百万円赤字縮小となりました。

売上高増収については、主にクラウド薬歴の初期導入の売上拡大が寄与したことが主な要因です。

営業損失の赤字改善については、クラウド薬歴の売上拡大が寄与しています。

ヘルスケア事業：有料会員数

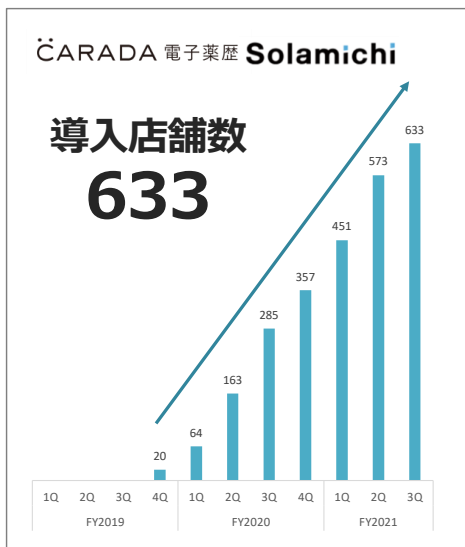


横ばい維持

(ルナルナ、カラダメディカ)

ルナルナとカラダメディカの有料会員数については、フィーチャーフォンサービス終了の影響が若干ありましたが、スマートフォン有料会員数では横ばいを維持しています。

ヘルスケア事業：クラウド薬歴



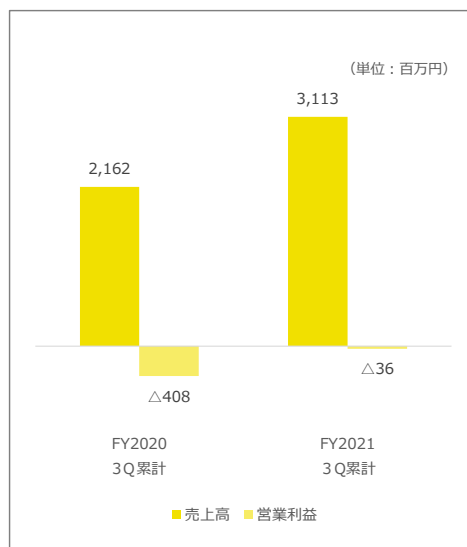
導入店舗数拡大

- ・ 直前四半期比+60件
2Qの駆け込み導入の反動
(IT導入補助金)

クラウド薬歴の導入薬局店舗数は6月末で累計633店舗となりました。

調剤薬局から強い導入ニーズがありますが、前四半期の駆け込み導入の反動により、3月からの増加は60件となりました。

その他事業（システム開発・AI事業等）：売上高・営業利益



**AI事業拡大
ソリューション事業拡大**
(大手企業向けDX支援好調)

その他事業については、売上高は、前年同期比9億51百万円増加の31億13百万円となりました。

営業損失は36百万円と、前年同期比3億72百万円の赤字縮小となりました。

AI事業やソリューション事業の旺盛なDX需要を取り込んで、売上が拡大しました。

2021年9月期 第3四半期の連結業績の概要は、以上の通りとなります。

今後の取り組み

続いて、今後の取り組みについてご説明いたします。

FY2021基本方針

1. ヘルスケア事業

- ・クラウド薬歴の導入店舗数のさらなる拡大
- ・『母子モ』プラットフォーム化
- ・有料会員数の維持

2. コンテンツ事業

- ・オリジナルコミック事業の拡大
- ・有料会員数の維持
(セキュリティ関連アプリ会員数拡大)

2021年9月期の基本方針はご覧の通りです。

ヘルスケア事業では、クラウド薬歴の導入店舗数増による更なる売上拡大に注力していきます。

母子手帳アプリ『母子モ』は、連携する子育てDXサービスの拡充を通じて、『母子モ』プラットフォーム化を目指していきます。

コンテンツ事業では、オリジナルコミック事業については引き続きヒット作品投入数を増やし、更なる売上拡大を目指します。

また、需要の高まるセキュリティ関連アプリの会員数についても、引き続き伸ばしていきます。

クラウド薬歴

エムティアイ

Solamichi
System

医療機関と患者をつなぐ
クラウド薬歴

CARADA 電子薬歴 Solamichi



薬歴とは？

「薬剤服用層管理指導記録」のこと。
薬剤師が医師の処方箋に沿って調剤する際は、患者ごとに服薬後の状況、副作用などを聞き取り薬歴として記録しなければならない。

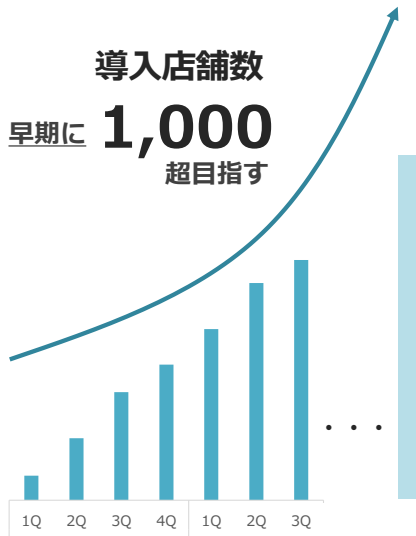
Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

17

続いて、クラウド薬歴の進捗についてご説明いたします。

クラウド薬歴

CARADA 電子薬歴 Solamichi



店舗数さらなる導入拡大へ

- ・ 医薬品卸大手
 メディパルホールディングス との協業
- ・ 調剤薬局向け大手システム会社との提携
 - ・ 4月、三菱ITソリューションズとの連携開始
 - ・ 7月、富士フィルムヘルスケアシステムズとの連携開始

Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

18

クラウド薬歴の導入については、契約済みの導入待ち薬局数も増えていることから、第4四半期の導入店舗数は増加し、売上高も拡大していくと考えています。

導入店舗数の増加に向けて、引き続き、協業先である医薬品卸大手の(株)メディパルホールディングス様との営業連携を強化していきます。

また、販売網強化のため、調剤薬局向け大手システム会社と業務提携を締結しました。

4月より、三菱電機ITソリューションズ(株)様と、7月より富士フィルムヘルスケアシステムズ(株)様との間で販売連携を開始しています。

それぞれの販売先を共有することにより、より多くの調剤薬局にクラウド薬歴の魅力をお伝えする機会を増やしていきます。

これらの施策により1,000店舗導入達成に向け取り組んでいきます。

母子手帳アプリ+子育てDX

子育て世代と自治体・病院をつなぐ

母子手帳アプリ+子育てDX



Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

19

続いて、母子手帳アプリ『母子モ』と子育てDXサービスの進捗についてご説明いたします。



母子手帳アプリ『母子モ』から始まる プラットフォーム事業展開

Phase 1 : 母子手帳アプリ『母子モ』

Phase 2 : オンライン相談

Phase 3 : 子育てDXサービス

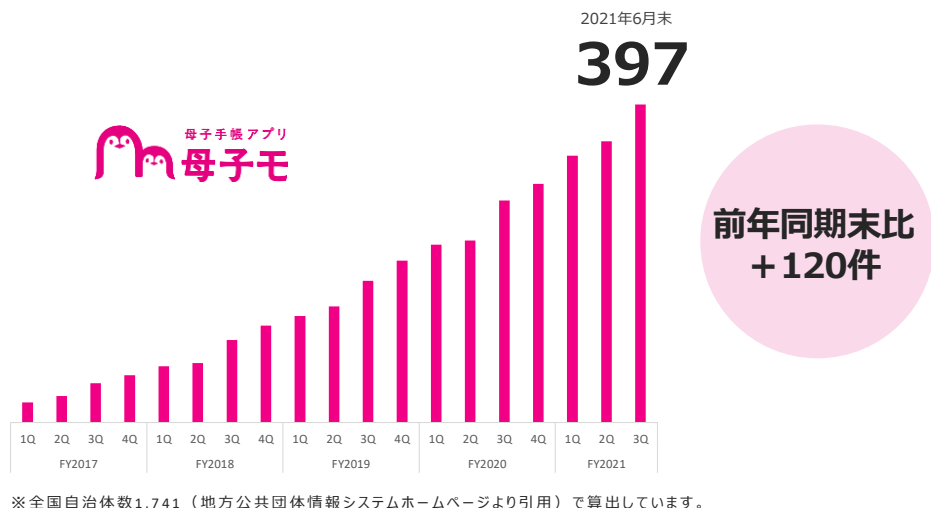
『母子モ』の認知度は全国の自治体に広がっており、母子モから始まるプラットフォーム化に向けて、3つのフェーズに分け展開しています。

Phase1 では、母子手帳アプリ『母子モ』、
Phase2 では、オンライン相談、
Phase3 では、子育てDXサービスを、それぞれ展開していきます。



Phase 1 : 母子手帳アプリ『母子モ』

7月、導入自治体数400突破



Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

Phase1での母子手帳アプリ『母子モ』の導入数は順調に推移しています。

6月末では397となり、7月にはさらに400を超えました。

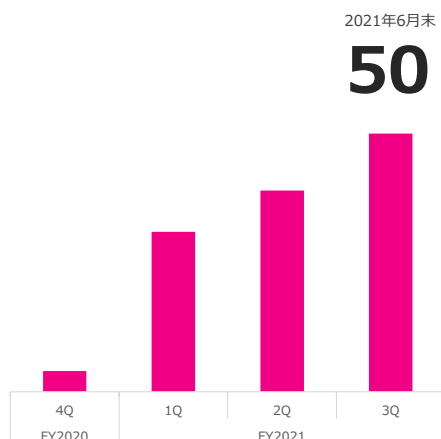
『母子モ』は、妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポートするアプリで、特にワクチンスケジュールが人気であり、利用率も高いサービスです。

無料アプリを地域住民が利用し、自治体から月額料金を徴収するビジネスモデルとなっています。



Phase 2 : オンライン相談

導入自治体数50件



自治体の相談事業

育児
相談

乳幼児
相談

妊婦相談
(産後ケア)

ひとり親
相談

自治体

保護者



テレビ会議

※画面はイメージです。

※全国自治体数1,741（地方公共団体情報システムホームページより引用）で算出しています。

Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

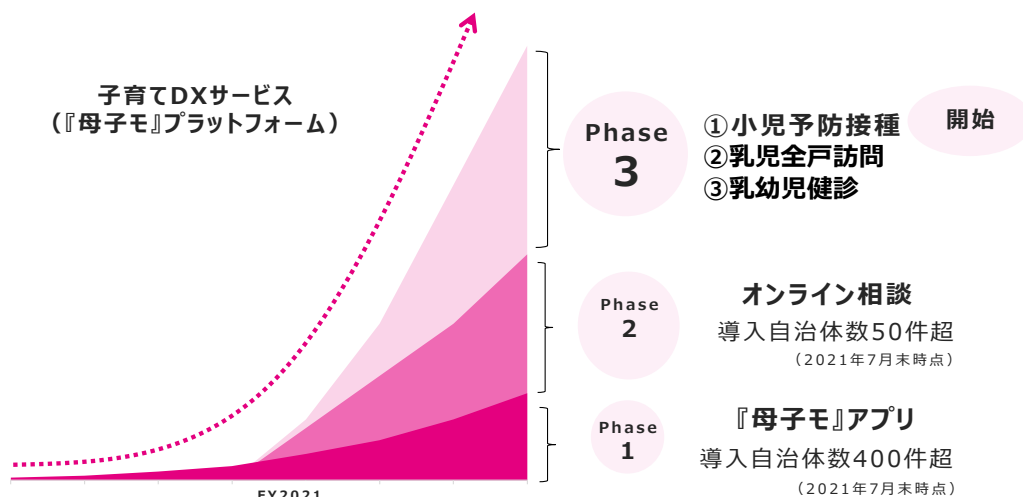
Phase2 では、母子モアアプリを導入した自治体への追加商材として、オンライン相談サービスを2020年7月に開始しています。

コロナ禍における自粛期間中、子育て業務のオンライン化など、行政DXの需要が高まったこともあり、導入自治体数は6月末で50まで増加しました。



Phase 3 : 子育てDXサービス

Phase 3サービス開始、まずは小児予防接種から



Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

23

Phase3 では、地域住民と自治体に加え、小児科も『母子モ』を利用することにより、子育てDXの形はさらに進化したものになります。

まずは小児予防接種における手続きのオンライン化を支援する、「子育てDX小児科接種サービス」の提供を開始します。

自治体や医療機関は、『母子モ』を通じて予診票や接種記録をオンライン上で確認・管理ができるようになるので、接種間違いなどの予防や事務処理負担の軽減が期待できます。

また、住民も予防接種に必要な作業をオンラインで行うことができるようになります。

Phase3ではこのほか、様々な子育てDX機能を追加予定です。

乳児全戸訪問、乳幼児健診用サービスを展開し、中長期的なヘルスケア事業の売上拡大につなげていきます。

コロナ禍、行政DXのニーズの高まりを受けて 行政・病院・住民のデジタル連携実現



トピックス

続いて、トピックスについてご説明します。

トピックス①

フェムケーション領域、丸紅と業務提携へ



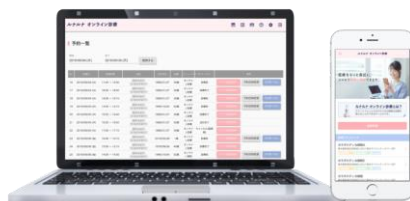
働く女性の健康課題改善をサポートする総合的なプログラムの共同開発

LunaLuna



女性向けヘルスケアサービスルナルナによる
フェムケーションプロジェクト

CARADA medica



(株)カラダメディカ月経管理アプリ「ルナルナ」と連携した産婦人科向け
オンライン診療システム『ルナルナ オンライン診療』

丸紅(株)様と当社および、子会社(株)カラダメディカとの間で、働く女性の健康課題改善をサポートする、総合的なフェムテックプログラムの共同開発を推進する業務提携の覚書を2021年7月9日に締結しました。

当社の女性向けヘルスケアサービス「ルナルナ」と、(株)カラダメディカの「オンライン診療・オンライン服薬指導サービス」での実績とノウハウを活かし、働く女性のクオリティ・オブ・ライフとエンゲージメントの向上を支援していきます。

トピックス②

「3D航空気象アプリ」ANA、JAXAと共同開発
気象現象予測を「3D化」した航空機運航を開始



※「被雷危険領域の3D画像」



※「雨の3D画像」



※「雲の3D画像」

Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

27

航空気象事業のARVIでは、先進的な3D気象可視化技術を活用した気象情報アプリ「3D ARVI」の運用を、8月より開始します。

3D ARVIは、ANA（エーエヌエー）のオペレーションノウハウ、JAXAの世界初となる被雷危険領域予測技術、エムティーアイの3D気象可視化技術を搭載しており、気象現象・予測を3Dで可視化することで、迅速な情報把握を可能にします。
被雷回避による最適な運航ルートを選択が可能となります。

ありがとうございました



〈お問い合わせ先〉
株式会社エムティーアイ I R 室
e-mail:ir@mti.co.jp
<https://www.mti.co.jp>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

Copyrights (c) 2021 MTI Ltd. All Right Reserved

説明は、以上になります。ご清聴ありがとうございました。